

第20回日本・スペイン・シンポジウム 共同座長による最終報告書

1 シンポジウム

第20回日本・スペイン・シンポジウムは、2018年11月22日、山口市において開催された。日本側から山田賢司外務大臣政務官等が、スペイン側からサロモン外務・EU・協力省北米・東欧・アジア太平洋局長等が出席した。

日本とスペインの外交関係樹立150周年にあたる記念すべき本年に実施された本シンポジウムには、安倍晋三内閣総理大臣からのビデオ・メッセージが寄せられたほか、同日の外務省主催昼食会には、高村正彦日本・スペイン友好議員連盟名誉顧問の出席を得た。

共同座長として、本年10月に実現した安倍内閣総理大臣のスペイン訪問の際に、サンチェス首相との間で発出された両国の「戦略的パートナーシップ」に関する共同声明の発出を歓迎し、今後、このパートナーシップに従い、幅広い分野で両国の関係が深化することを期待する。また、右共同声明において、山口における今回のシンポジウムの重要性が言及されたことを光栄に感じる。

今次シンポジウムは、「日本スペイン外交関係樹立150周年のその先へ～自由貿易、イノベーション及びソフトパワーにおける協力～」とのテーマの下で、両国の専門家が「日本とスペイン：自由貿易の促進に向けて」、「イノベーション、研究と企業家精神、繁栄の秘訣」及び「両国のソフトパワーの影響と訴求力」をテーマとした個別セッションで自由に活発な意見交換を行った。

具体的には、本年の外交関係樹立150周年後の日本とスペインの関係強化のため、経済、産業及び文化の分野で、具体的にどのような協力が考えられるのかを議論した。今回のシンポジウムでの議論と情報共有を通じ、両国政府が促進する関係だけではなく、本シンポジウムを含む様々な関係者の間でのこれら分野での協力が一層進み、具体的な成果を生み出すとともに、全体的な二国間関係の強化に貢献することを期待する。

2 日本とスペインの関係

共同座長としては、最近の日西関係の進展を振り返り、次のとおり両国関係を展望する。

<政治>

両国からのシンポジウム参加者は、両国の外交関係樹立150周年にあたる本年、両国各地で様々な記念事業が実施され、国民レベルの相互理解が深まったこ

とを歓迎した。また、2013年の首脳間の共同声明「平和、成長とイノベーションのためのパートナーシップ」が両国関係の強化に繋がったことを再確認し、本シンポジウムがそれに果たした役割は大きいことを確信する。本年10月の安倍総理のスペイン訪問及びサンチェス首相の間で表明された「戦略的パートナーシップ」が、今後の両国関係の指針として極めて重要であることを強調し、本シンポジウムが、共同声明に盛り込まれた分野に貢献する努力を行うことで一致した。

<経済>

両国からのシンポジウム参加者は、本年7月に署名された日本とEUの間の経済連携協定（EPA）及び戦略的パートナーシップ協定（SPA）は、両国間の貿易及び投資が拡大傾向にある中で、また、保護主義の潮流が見られる中で、極めて重要であることを認識した。これら協定は、日本とEUだけではなく、世界的にも肯定的な影響を持つこと、また、日本とスペインの経済関係の強化だけではなく、政治的なつながりも強化するものであることが確認された。これらの協定の早期の発効により、両国の政治・経済の強化が図られることを期待する。また、イノベーションやスタートアップ企業の支援促進における両国間、特に経済界における協力に大きな期待を寄せる。

<文化>

両国からのシンポジウム参加者は、外交関係樹立150周年の機会に両国各地で様々な文化行事が実施され国民レベルの相互理解が進んだことを認識しつつ、日本とスペインの様々な魅力を再確認し、ソフトパワー分野での両国間の協力に大きな可能性があることを強調した。本シンポジウムで議論されたような方でこの分野の更なる協働が進められることを期待する。また、本年10月にはイベリア航空による東京―マドリード間の直行便が週5便となり、また、昨年には、日本政府観光局マドリード事務所が開設されており、両国の相互交流が更に進むことを期待する。

<その他の交流>

フェリペ6世国王訪日時にワーキング・ホリデー制度に関する協定の署名が実現し、これが本年6月に発効したことを高く評価する。この制度を通じて両国の次世代を担う若者の相互理解が更に促進されることを期待する。

2018年10月の安倍内閣総理大臣のスペイン訪問の際に、両国間の現行の租税条約を全面改正する新条約及び航空協定の附属書の改正に係る交換公文への署名が行われたことを歓迎する。これらにより、日西間の投資、経済及び人的交流が更に促進されることを期待する。

議員外交については、本年9月に、日本の参議院議院運営委員会がスペインを訪問し、スペイン上院との交流を実施したことを歓迎する。

両国間学術交流が更に発展すること及び両国の言語・文化に関する研究が促進されることを期待する。その観点から、本年11月にサラマンカにおいて開催される日スペイン学長会議を歓迎する。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて両国間のスポーツ協力及び行政当局間交流が進むことを期待する。

3 結語

日本とスペインが、本年の外交関係樹立150周年を通じて盛り上がったモメンタムを活用しつつ、2018年10月の安倍内閣総理大臣のスペイン訪問時に発出された共同声明を着実に実施していくことにより、幅広い分野における両国間の協力の関係が一層深まることを期待する。

最後に、今回のシンポジウムに当たって、両国の政府及び関係機関から示された協力と支援に感謝する。

2018年11月22日

日本側座長
横山進一

スペイン側座長
ジョセップ・ピケ